

国際交流研究科 第4回公開講演会

SDGs (持続可能な開発目標) をめぐる 内外の動向

～今、私たちはSDGsとどう向き合うべきか～

ESD活動支援センター
副センター長 鈴木 克徳 氏



日時：平成 **30** 年 **7** 月 **14** 日 (土)
時間：15:00～16:45 (開場 14:30)
会場：目白大学新宿キャンパス
10号館9階 10901教室

※参加無料／申込不要

主催 目白大学大学院国際交流研究科
共催 目白大学社会学部地域社会学科
後援 ESD活動支援センター
新宿ユネスコ協会



講演趣旨

2015年9月、国連で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。2030年に実現すべき社会の姿を描き、それに至る道筋を示そうというものであり、その中核をなすものとして17のゴールと169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を提示しています。SDGsは、おおむね2030年までに達成すべき具体的な行動目標を示しており、その実現に向けて各国政府はもとより、世界の主要な企業や国際機関、NGOなど多くのステークホルダーが極めて熱心に取り組んでいます。

SDGsは、前身となるミレニアム開発目標（MDGs）と異なり、極端な貧困状態にいる人をゼロにするなど、誰も取り残さないこと（leave no one behind）、世界のすべての国が取り組むべき目標であること、改めて経済成長と社会、環境の一体性を強調している点に特徴があります。

本講演では、SDGsの背景や特徴を明らかにするとともに、私たちが国内的に実施すべき課題、国際的に貢献を期待される活動などについてわかりやすく解説します。

講師プロフィール



鈴木 克徳（すずき かつのり）

ESD活動支援センター 副センター長

昭和51年に環境庁に入省して以来、一貫して環境行政に携わる。昭和60年以降は、主としてモントリオール議定書改正、気候変動枠組条約、京都議定書交渉等の国際環境外交、国際環境協力に従事。持続可能な開発のための教育（ESD）については、平成14年から国連大学高等研究所にて「国連持続可能な開発のための教育の10年」の推進に努め、「持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点（RCE）」づくりを推進するとともに、大学等の高等教育機関の果たすべき役割の強化に努めた。平成19年9月に金沢大学に着任。北陸の大学や初等中等教育（小中高校）における持続可能な開発のための教育（ESD）、ユネスコ・スクールの推進等に従事し、北陸ESD推進コンソーシアムを設立。平成30年3月で金沢大学を定年退職し、現在は副センター長としてESD活動支援センターに勤務。国連大学サステナビリティ高等研究所上級客員研究員、(財)地球環境戦略研究機関(IGES)シニアフェロー等を兼務。



交通機関

- 西武新宿線・都営大江戸線
「中井」駅より徒歩8分
- 東京メトロ東西線
「落合」駅より徒歩12分
- 都営大江戸線
「落合南長崎」駅より徒歩10分

★お車でのご来校はお控えください。

お問い合わせ先

目白大学大学院国際交流研究科
目白大学社会学部地域社会学科
TEL 03-5996-3158
URL <http://www.mejiro.ac.jp>